



乙女小学校幼児ことばの教室

ことばの教室だより

令和5年10月

幼児ことばの教室 0285-45-5001

今年は9月になっても猛暑日が続き、中々涼しさを感じられませんでした。朝夕もやっと涼しくなり、空の色、風の爽やかさに、秋の訪れを感じます。

何をするにも気持ちのよい季節です。今年は新型コロナウイルス感染症流行の前に戻り、地域の秋祭りや収穫祭、幼児施設では運動会などの行事が、工夫しながら実施されることと思います。楽しい思い出とともに、ことばも広がっていくと思います。子どもたちからのお話を楽しみにしています。



10月



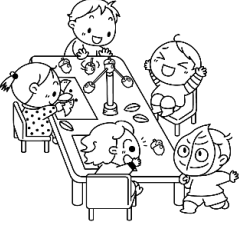
の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9 スポーツの日	10	11 職員会議 6.7校時休室	12	13 6校時 休室	14
15	16	17 5校時 まで休室	18	19	20 午後休室	21 乙女小 運動会
22	23 運動会 振替休業	24	25	26	27	28
29	30	31	11/1	2	3 文化の日	4

気になる子どもの10の子育て …テーマ… 友達関係の積み上げ方

§ 子どもの友達関係は遊びによって育まれる §

子どもにとって、友達関係は「遊び」を通じて育まれます。でも、同じ年齢の子どもでも遊び方は人それぞれ。それは、「子どもの遊びには発達段階がある」ため。遊びは次のように発達していきます。

① 感覚遊び 見たり、聴いたり、触ったり、五感で得られる刺激を楽しむ。	
② ひとり遊び ひとりでおもちゃを使って遊ぶ。	
③ 平行遊び ほかの子どもの近くで、お互いを意識しながら、ひとりで遊ぶ。	
④ 対面遊び ほかの子どもと一緒に同じおもちゃなどを使って遊ぶ。	
⑤ 順番遊び 同じ遊具やおもちゃをほかの子どもと順番に使い合って遊ぶ。	
⑥ グループ遊び 何人かの子どもでルールをつくり、それに沿って遊ぶ。	
⑦ ごっこ遊び 何人かの子どもでいろいろな役割を決めて演じながら遊ぶ。	

§ 遊びの発達段階を見極め、次のステップへと導く §

まずは、保護者は自分の子どもがどの段階にいるのかを見極めることが大切です。また、『ひとり遊び』の段階なのに、いくつかのステップを飛ばして『グループ遊び』や『ごっこ遊び』に加わらせようとしても無理があります。焦らず、一つ一つのステップを踏んでいくことが、大切です。

トラブルが起きやすいのは『平行遊び』から『対面遊び』に移行するとき。今までひとりで遊んでいたのが、同じおもちゃを使い、一緒に遊び始めるのですから、取りあいのケンカが起こります。でも、それは子どもにとって必要不可欠。「自分だけでなく、他の子もこのおもちゃを使いたいんだ」と、他者の気持ちを学ぶチャンスであり、「ごめんね」と仲直りを学ぶチャンス。友達関係のベースになります。子どもがケンカをしたときのサポート法としては、「何が嫌だったの?」「何がしたかったの?」という質問で子どもの気持ちを引き出してみてください。そして親子で一緒に解決策を考えていってほしいと思います。

逆にいつまでも『ひとり遊び』の段階にとどまっている子どもには、親が友達の代わりになって次のステップの『平行遊び』をし、様子を見ながら順に次のステップに移行しましょう。段階を順序よく踏むことで、スムーズに友達の輪に入れる子どもも多いようです。

～「子育てを楽しむママたちのコミュニティマガジンまま・ここと (秋号)」

臨床心理士 石川京子さんのお話しより～抜粋